畳システム　V5
取扱説明書

Ver.5.1.16　2015/03/26　改訂

注意）本書に掲載されている画像は開発中のものであるため、実際の製品とは細部が異なっている場合があります。ご了承ください。

1．はじめに

畳システムとは

　このソフトウェアは、畳を製作するにあたって不可欠の、採寸・割付、そして製作までの一連の作業を支援する目的で提供するものです。

畳システムV5の機能

　畳システムV5は、畳の製作にあたり、以下の機能を提供します。

・畳の採寸値の入力と割付計算。
・割付計算した部屋データの保存とその検索。
・割付データの敷詰図印刷、あるいは畳別に分割したシールの印刷。
・畳製作省力機に対しての割付データの書込。

　また、従来の畳システムV3に対し、以下の機能を追加しています。

・半畳並広間の追加。
・広間タイプの部屋の割付後寸法修正が可能に。
・採寸画面の拡大縮小、ドラッグによる画面のスライド。
・Microsoft Windows 7、8.1への正式対応。
・畳毎の鉤柱の記入。
・畳採寸器との連携機能。

畳システムV5の必要環境

　畳システムV5のご利用には、以下の条件を満たすパソコンが必要です。

・Microsoft Windows XP、Vista、7、8.1をOSとするPC
　(Macintosh等のOSには対応しません)
・.net Frameworks 2.0以降のインストール
・解像度が1024×580以上のモニタ
・一つ以上のUSB接続端子(製品版のみ)

畳システムV5　評価版の機能制限

　畳システムV5評価版では、以下のように機能を制限させていただいております。

・採寸割付の割付可能な部屋種を四畳半（左）および六畳のみに制限
・畳省力機への割付データ書込が使用できない

　評価版を製品版にアップグレードするには、弊社より正規版ライセンスを書き込まれたUSBメモリをお買い求めください。

　正規版ライセンスのお買い求めは、本説明書末尾の「7.その他」の項目を参照してください。

ネットワーク通信への対応

　本ソフトウェアは、本ソフトウェアのアップデート以外の目的ではインターネット通信には対応しておりません。

2．インストール

　畳システムのインストールを行うには、畳システムインストーラを入手する必要があります。

1.Webからの入手

　以下のサイトから、インストーラをダウンロードすることができます。

http://ksdt.jp/ksts/

　ダウンロードしたzipファイルを任意の場所に解凍して、含まれるsetup.exeを実行してください。
　なお、ダウンロードしてインストールを行った畳システムは、機能を制限された評価版となります。

2.製品の入手

　弊社より、製品インストーラを同梱したUSBメモリを送付致します。
　ソフトウェアの価格と支払い方法及び連絡先は、本説明書末尾の「7.連絡先」の項目を参照してください。
　送付されたUSBメモリをPCのUSB端子に差し込み、同梱のsetup.exeを実行してください。
　なお、このUSBメモリを取り外した状態でソフトウェアを起動した場合、ソフトウェアは評価版として動作します。

　どちらの手順でインストールを開始した場合でも、画面の指示にしたがって「次へ」をクリックし、インストールを進めてください。
　途中、「認識できないプログラムがこのコンピュータにアクセスしようとしています」という警告が表示される場合がありますが、これは画面中程の「許可する」をクリックして操作を進めてください。

　「インストールは終了しました」と表示されたなら、「閉じる」をクリックしてプログラムを終了してください。

２．動作環境の設定（１）

インストールしたのち、最初に畳システムを起動すると、自動的にこの動作環境の設定画面が表示されます。

この画面では、畳システムを利用するにあたってのいくつかの条件設定や、設定値の保存と取込を行うことができます。

２－１．基本設定

図2-1

動作環境の設定を呼び出したとき、最初に表示される画面です。
保存先の指定や転送番号の最大・最小値、採寸番号のカウンタなどを設定します。

１）保存先
畳システムの採寸データを記録するアドレスを指定します。
・ユーザードキュメント
畳システムを利用しているユーザーのマイドキュメントフォルダに自動的に保存先を設定します。

・任意設定
入力したアドレスに寸法データを保存します。
枠右の参照ボタンからも保存先を選ぶことができます。

２）０/５補正
ラジオボタンで選択します。
採寸割付画面において割付を行う際、割り付けられる寸法の下一桁（厘単位）の値を、可能な限り０か５になるように補正を行ないます。

注意:（Ver.5.1.10以降）
表材料で目幅補正を指定した場合、0/5補正に設定の値よりも優先して計算を行います。

３）中寸縮小
数値を入力します。
ここに入力されている数値だけ、割付寸法から中寸の寸法を縮小して転送を行ないます。
中寸縮小の値は、転送直前に割り当てられます。割付値そのものには影響しません。

４）転送番号最大値
畳省力機に書き込む畳番号の最大値を設定します。
転送時に畳に割り当てられる転送番号がこの値を超えると、後述する転送番号最小値に数値が修正されます。

５）転送番号最小値
畳省力機に書き込む畳番号の最小値を設定します。
転送時に畳に割り当てられる転送番号が先述の転送番号最大値を超えると、この値に数値が修正されます。

６）採寸番号起点
採寸条件決定画面で、採寸番号欄を空白のままEnterキーを押した時に、自動的に割り振られる採寸番号の起点を設定します。
実際に割り振られる採寸番号は、ここで決定したものに+1した値になります。

７）転送番号起点
転送時、自動的に割り振られる転送番号の起点となる値を設定します。
転送番号最大値と転送番号最小値の間の値でなくてはなりません。

２－２．表示設定

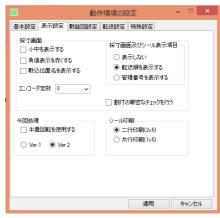



図2-2

画面上の「表示設定」タブをクリックすることで表示される画面です。ここでは画面表示の設定を行います。
チェックボックス形式のものはチェックを入れると有効となります。

１）採寸画面
採寸割付画面における表示の有無を設定します。

・小中を表示する
有効にすると、採寸画面で自動的に小中の値を表示した状態で採寸を開始します。

・負値表示を赤くする
採寸画面、敷詰図において、負の寸法を赤く表示するかどうかを決定します。

２．動作環境の設定（２）

・敷込位置名を表示する
「北枕」などの敷込位置名称を、初期状態から表示するかどうかを指定します。この定義は後述の「敷込位置名称定義」で変更が可能です。

・エンコーダ定数
Bluetoothで無線採寸機を接続した場合に、正しい寸法を取得するためのエンコーダの定数を指定します。
接続する無線採寸機の取扱説明書から、適切なエンコーダ定数の値を確認し、設定してください。

・採寸画面及びシール表示項目
採寸画面とシール印刷画面において、表示される畳の番号表示についての設定を行います。
チェックを入れる項目によって、以下の三通りの表示を切り替えることができます。

１．表示しない
畳の番号を表示しません

２．転送順を表示する
畳の番号を、部屋に設定された転送順序で表示します。

３．管理番号を表示する
畳システムで設定された、畳の管理番号を表示します。

・割付の厳密なチェックを行う
割付を行った際、寸法に何らかの矛盾が発生している場合、画面に警告を表示するかどうかの設定を行います。

２）今回処理
採寸データの敷詰表示や転送を行う今回処理画面の表示項目を設定します。

・半畳回転を使用する
半畳畳を二枚の畳と見立て、二枚目を90度回転させて転送する「半畳回転転送」機能を有効にするかどうかを決定します。

・バージョン選択
旧来型のVer.1今回処理画面を使用するか、更新型のVer.2今回処理画面を使用するかを選択します。
初期状態ではVer.1を使用します。

４）シール印刷
シール印刷画面における表示設定を行います。

・二行印刷(2x5)or片行印刷(1x5)
シール印刷時、画面に横二列縦五列で印刷するか、左側に横一列縦五列のみで印刷するかを指定します。

片行印刷(1x5)は、主に右側に作成される空白を手書きのメモなどに利用する場合に使用します。

２－３．敷詰図設定

この項目では、敷詰図を表示・印刷する際の表示項目を設定します。

図2-3

１）基本設定

画面左のチェックボックスでは、採寸条件の初期表示状態を決定します。

・採寸条件を表示する
チェックすることで、敷詰図の採寸条件を表示します。
表示する採寸条件の内容は、画面右の「採寸条件詳細表示」で指定することができます。

・採寸値を併記する
敷詰図の割付値に採寸値を併記するかどうかを決定します。
採寸画面などでは「複合表示」と呼称する機能です。

２）採寸条件詳細表示

採寸条件の表示形式を指定します。以下のいずれかを選択してください。

・「表題」のみ
画面上に、採寸番号、部屋種別、採寸日付、規格、厚さの項目のみを表示します。

・「採寸条件」のみ
後述の「採寸条件表示設定」で設定可能な、採寸条件の詳細表示のみを行います。「採寸条件を表示する」で表示／非表示の切り替えが可能です。

・「表題」＋「採寸条件」
画面上の「表題」と、「採寸条件」の両方を表示します。

・なし
「表題」も「採寸条件」も表示しません。

2．動作環境の設定（3）

2－4．転送設定

この項目では、省力機への転送を行う際の、接続される省力機の種別や構成の設定や、部屋別の畳の転送順序を設定することができます。

「転送機器設定」と「転送順序設定」の『保存』『読込』のボタンは、それぞれ設定値の出力と取り込みを行ないます。

図2-4

１）転送順設定
転送を行う際の、各部屋ごとの転送順序を決定します。
また、敷詰図上の畳番号は、ここで決定した転送順序が表示されます。
詳細は「2-６．転送順設定」の項目を参照してください。

２）転送機器設定
畳システムから割付データを書き込む省力機を設定します。ここで正しく設定を行わないと、省力機へのデータ書込はできません。
なお、転送書込はオプション機能です。使用しない場合は設定する必要はありません。
詳細は「付録2　転送機器設定」の項目を参照してください。

2－5．特殊設定

この項目では、敷詰図などに表示される採寸条件項目の名称をカスタマイズすることができます。

「項目名称設定」の『保存』『読込』のボタンは、それぞれ転送設定の「転送機器設定」などと動作は同じく、設定値の出力と取り込みを行ないます。

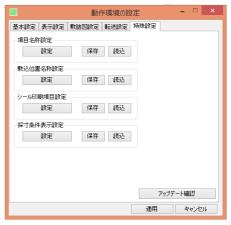



図2-5

１）項目名称設定
「建物名」等の採寸条件の名称を変更することができます。
詳細は「2-6.項目名称設定」の項目を参照してください。

２）敷込位置名称設定
畳の敷込位置の名称を設定することができます。
詳細は、「2-7.敷込位置名称設定」を参照してください。

３）アップデートの確認
インターネット、あるいはUSBメモリなどのリムーバーブルメディアから、畳システムのソフトウェアの修正・更新プログラムの有無を確認します。
修正・更新プログラムが見つかった場合、その場で更新を行うことができます。
詳細は「2-8.畳システムのアップデート」の項目を参照してください。

４）シール印刷項目設定（Ver.5.1.15以降）
シール印刷で表示を行う項目の設定を行うことができます。
詳細は、「付録４.シール印刷項目設定」を参照してください。

5)採寸条件表示設定（Ver.5.1.15以降）
採寸条件として表示する項目の設定を行うことができます。
詳細は、「付録５．採寸条件表示設定」を参照してください。

２．動作環境の設定（４）

２－６．転送順設定

　この項目では、シール印刷や省力機への転送を行う際の、部屋種ごとの畳の転送順序を決定します。
　動作環境の設定の転送設定画面で、「転送順設定」の「設定」ボタンを押すことで、転送順設定画面が表示されます（図2-6）。

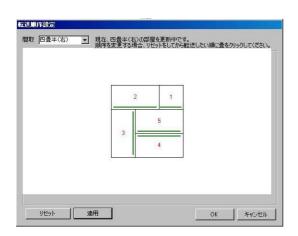



図2-6

　まず、画面左上の間取枠から、順序を変更したい部屋を選択します。
　すると、画面中央の畳図が、選択した部屋に対応するものに書き換わります。
　このとき、畳の中央に赤文字で表示されているのが転送順です。

　変更を行う場合、通常の部屋の場合は画面左下の「リセット」ボタンを押すと、その部屋の畳の転送順がすべて０に書き換わります。
　この状態で、転送を行いたい順序で畳を左クリックしてください。畳中央の数字がクリックされるごとに１ずつ加算され、その数字が転送順になります。

　すべての畳をクリックして転送順を割り当てたならば、画面下の「適用」ボタンを押してください。「OK」ボタンを押すと、変更を適用するかどうか確認した上で転送順設定画面を終了します。

■広間種の部屋の転送順設定

　広間、半畳市松、半畳並等の広間の転送順序は、広さが可変であるために順序を固定することができません。
　そのため、自動で順序を割り当てるルールを選択する形で転送順を設定します。

広間の転送パターン（2014年12月現在） ・並び ・外回り中並び ・市松（半畳市松のみ）

　間取選択欄から広間種の部屋を選択すると、5×5の広さで選択した広間の畳図が表示されます(図2-6-2)。
　画面下の〇のついた転送パターンから、使用したいパターンをクリックして選択してください。
　この設定値は、適用あるいはOKボタンを押すまで確定されません。

図2-6-2

２．動作環境の設定（５）

２－７．項目名称設定

　この項目では、条件設定等の画面で表示される、採寸条件の項目の名称を変更できます。
　動作環境の設定の特殊設定画面で、「項目名称設定」の「設定」ボタンを押すことで、項目名称設定画面が表示されます（図2-7）。

図2-7

　各項目には、左の表題に初期設定では本来どのような項目であるかを、右に現在設定されている項目名称が表示されています。
　名称を任意に変更して、「OK」ボタンを押してください。項目の名称が入力した内容に変更されます。
　もし、項目名称を初期状態に戻したい場合は、「初期化」ボタンを押してください。

２－８．敷込名称定義

　この項目では、採寸画面および敷詰図において与えられる、畳の敷込名称を変更できます。
　動作環境設定の特殊設定画面で、「敷込名称設定」の「設定」ボタンを押すことで、敷込名称設定画面が表示されます（図2-8）。

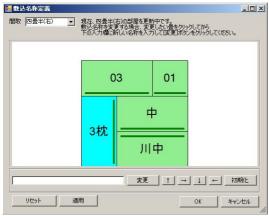



図2-8

　まず、画面左上の間取枠から、敷込名称を変更したい部屋を選択します。
　すると、画面中央の畳図が、選択した部屋に対応するものに書き換わります。
　このとき、畳の中央に表示されているのが敷込名称です。

　敷込名称に半角数字が書かれているものは、部屋に割り当てられた方位と入れ替えられる文字です。

　0：方位そのまま（例：北）
　1：時計回り 90度（東）
　2：同　　　180度（南）
　3：同　　　270度（西）

　以上のように対応して入れ替えが行われます。

　変更を行う場合、変更を行いたい畳を左クリックしてください。現在設定されている名称が入力欄に表示されます。
　ここで、「↑」「→」「↓」「←」のボタンを押下すると、名称の**先頭に**方位に置換される半角数字が追加されます。
　全角文字は変換が行われないため、固定で数字を入れたい場合は全角文字で設定してください。
　名称を変更したならば、「変更」ボタンを押下すれば変更を適用できます。
　「初期化」ボタンを押下すれば、その項目の名称を初期設定のものに書き直すことができます。

　全ての敷込名称の修正が終了したら、「適用」をクリックしてください。変更が適用され、他の部屋の編集が可能になります。

　「OK」ボタンを押すと、変更を適用するかどうか確認した上で敷込名称設定画面を終了します。

■広間種・半畳縁無の部屋の敷込名称

　これらは、設定を行うことができません。

２．動作環境の設定（６）

２－９．アップデートの確認

この項目では、畳システムＶ５のソフトウェアのアップデートが行えます。

ソフトウェアのアップデートには、インターネットから直接更新ファイルを取得する方法か、USBメモリなどで更新ソフトウェアを入手する方法があります。

「動作環境の設定」の「特殊設定」のタブから「アップデート確認」のボタンを押下することで、アップデートの確認画面が表示されます。

図2-9

ここでインターネットから更新する場合は「インターネットから更新する」ボタンを、USBメモリなどに保存してある更新ファイルから更新を行う場合は「ファイルから更新する」を押下してください。

１．インターネットから更新する

PCがインターネットに接続できる場合は、こちらの方法を使用します。

「インターネットから更新する」ボタンを押下すると、「畳システムソフトウェアのアップデート」画面が表示されます。
この状態でしばらく待つと、正常に通信ができる状態であれば、畳システムV5ソフトウェアの更新の有無が画面に表示されます。

「詳細」をクリックすると、下の表示欄に更新詳細情報が表示されます。
「更新」を押下すると、畳システムV5のソフトウェアを終了し、更新が実行されます。

正常に更新が終了したら、アップデートプログラムを終了して、畳システムを再起動してください。

図2-9-2

２．ファイルから更新する

ネットワークに接続できないPCを対象とする場合は、こちらの方法で更新を行います。

「ファイルから更新する」ボタンを押下すると、ファイルを選択する画面が表示されます。

ここで、二通りのファイルを選択することができます。

１）zipファイルを参照する場合(Ver.5.1.10以降)

Ver.5.1.10以降をインストールしている場合に利用可能です。

開かれるファイル参照画面から、当社から取得した畳システムの更新ファイル（標準では「tSystem_v5.zip」）を選択してください。

図2-9-3に示すような画面で確認が行われるため、画面の指示に従ってファイルの解凍を行ってください。

図2-9-3

解凍が終了したならば、そのフォルダから自動的に更新プログラムを取得し、図2-9-2に示すような更新画面が表示されます。
以降の操作は、インターネットから更新する場合と同様です。畳システムV5が自動的に終了されたのち、ソフトウェアを再起動してください。

２）解凍済みの更新フォルダを参照する場合

当社から取得した更新ソフトウェアを任意のフォルダに解凍してください。
その解凍先のフォルダを開き、「ver_ksts.xml」を選択して開いてください。
正しい更新設定ファイルであれば、インターネットを利用した場合同様、「畳システムソフトウェアのアップデート」画面が表示されます。

以降の操作は、インターネットから更新する場合と同様です。畳システムV5が自動的に終了されたのち、ソフトウェアを再起動してください。

３．採寸割付（１）

　採寸してきた畳の寸法をもとに、部屋の採寸割付を行います。

３－１．畳システムの起動

　採寸してきた畳の寸法をもとに、部屋の採寸割付を行います。

　畳システムを起動し、メニュー(図3-1)から「採寸割付」をクリックしてください。
　採寸条件設定画面(図3-2)が表示されます。

図3-1　畳システムメニュー

３－２．必須採寸条件の設定

図3-2　採寸条件設定画面

　採寸条件設定画面では、必ず以下の項目を決定しなくてはなりません。

・採寸番号
・間取（広間の場合縦横の広さ）
・規格寸

１）採寸番号の決定
　採寸番号は8桁の数字を入力してください。空欄の状態でEnterキーを押すことで、自動的に採寸番号起点に+1した値が入力されます。

２）間取の決定
　間取は、入力枠右の「▼」をクリックしてリストを表示するか、上下キーで部屋を選択してください。現在選択中の部屋の間取りは、右の白枠に概略図が表示されます。

　広間を選択した場合、縦幅と横幅を入力しなくてはなりません。Enterキーを押すかマウスで入力欄を選択し、上下キーかマウスで割付したい広間の畳単位での広さを指定してください。

３）規格の決定
　厘単位で、部屋の畳の規格を決定します。縦横の規格が異なる部屋を作成することもできます。
　Enterを押して、縦、横の順で規格を選択してください。

　以上の条件を入力したならば、画面右下の「採寸開始」ボタンで採寸ができるようになります。

３－３．任意採寸条件の設定

　任意採寸条件の設定を行ないます。
　以下の項目は、設定しなくても採寸には問題がありません。

・採寸日付　・制作予定　・敷込予定　・方位
・建物名　・部屋名　・施主名　・施工者名
・表　・床　・縁　・担当者名　・厚さ
・控寸

４）採寸日付、制作予定、敷込予定
　採寸を行った日付、制作を行う予定の日付、敷き込みを行う予定の日付をそれぞれ入力します。

　空欄のままEnterを押すと、作業しているその日付が入力されます。

　項目右に表示されるカレンダーの日付をクリックすることで、クリックした日付を入力することができます。

５）方位
　その部屋が向いている方位を入力します。これは採寸条件項目です。
　ここで入力した方位は、敷詰図の上側に表示されます。

６）その他の採寸条件項目
　建物名、部屋名、施主名、施工社名、表、床、縁、担当者名は、名称を任意に変更できる採寸条件項目です。
　建物名から縁までに入力した項目が、敷詰図左の採寸条件図に表示されます。

　なお、表材料は目幅の設定に使用できます。詳細は「付録3.目幅補正の設定」を参照してください。

３．採寸割付（２）

８）厚さ
　数値を設定します。一部の省力機では厚さを機械に書き込むことができます。
　採寸条件図のほか、敷詰図の上の表題枠に表示されます。

９）控寸(Ver.5.1.8以降)
　控寸を設定します。作成した部屋の畳それぞれの寸法を、ここに設定された値（厘単位）ぶん小さく書き込みを行います。
　なお、割付の段階では寸法に反映されません。書き込みを行う際に、丈、巾それぞれについて修正が行われます。
　採寸条件図の、厚さ項目の右に表示されます。

３－４．採寸条件項目の編集

　採寸条件項目は、普通に文を書き込むことができる他、右の「▼」を押すことで候補リストを表示し、そこから内容を選択することができます。

図3-3　採寸条件の選択

　また、採寸条件項目を入力する際、Shiftキーを押しながらEnterを押すことで、入力中の方位を候補リストに追加することができます。

図3-4　採寸条件の追加入力

　採寸条件項目を追加、削除、もしくは修正したい場合は、項目右の「＞」を押して、採寸条件定義設定画面を表示してください。

図3-5　採寸条件定義設定画面

　採寸条件項目の候補を追加したい場合は、下の入力欄に追加したい内容を入力の上、下のボタンから「追加」を押下してください。

　登録済みの項目を削除したい場合は、削除したい項目をクリックして選択した後、下の「削除」ボタンを押下してください。

　登録済みの項目を修正したい場合は、修正した胃項目をクリックして選択した後、下の入力欄で項目の内容を変更したのち、「修正」ボタンを押下してください。

　採寸条件定義設定画面では、採寸条件項目の候補を項目別にファイルに保存し、呼出をすることができます。

　ファイルへの出力を行いたい場合は画面右上の「保存」を、出力を行ったファイルを読み込む場合は「読込」をクリックしてください。

注意）
　「読込」を行った場合、その時点で登録されていた採寸条件項目はすべて上書きされます。ご注意ください。

３．採寸割付（３）

３－５．採寸データの記帳

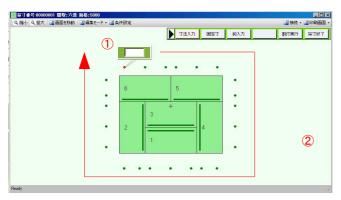



図3-6　採寸値の入力順序

採寸条件の設定が終わると、採寸割付画面が表示されます(図3-6)。

採寸値の記帳は、部屋の外周に沿って配置された「記帳点」に対して行います。
記帳点は、未入力の時は画面に緑色（選択中は赤色）の点として、寸法が与えられている時は同様の色の数字が表示されます。

図に①で示す「入力カーソル」が示す記帳点に数値を入力し、Enterキーを押すことで寸法が記帳されます。
なお、入力する数値は厘単位になるように注意してください。
（例：三分半小のときは-35と入力する）

Enterキーを押して寸法を記帳すると、入力カーソルは図3-6に赤線で示される順序で、次の記帳点に移動します。

寸法の記帳が終了し、部屋外周の記帳点すべてに寸法が与えられたとき、その部屋は寸法の割付ができるようになります。
割付は、部屋外周の記帳点すべてに寸法を与えた瞬間に自動で実行するほか、図に②で示す操作パネルにある「割付実行」ボタンを押すことで行えます。

補足)採寸画面の操作パネル

寸法入力	寸法入力モードに切替
固定寸	固定寸モードに切替
鉤入力	鉤入力モードに切替
割付実行	割付を実行する
敷込名称	敷込名称入力モードに切替

補足)入力カーソルの操作

↑	寸法を１厘加算
↓	寸法を１厘減少
Shift＋↑	寸法を10厘加算
Shift＋↓	寸法を10厘減少
Shift＋←	反時計回りに入力カーソル移動
Shift＋→	時計回りに入力カーソル移動
Home	入力カーソルの寸法を消去
Enter	寸法の確定

３－６．採寸データの割付と修正

割付が実行されると、採寸割付画面は割付値を表示する「割付画面」に切り替わります(図3-7)。

図3-7　割付画面

割付画面では、操作パネルが割付画面用のものに切り替わり、記帳点は割付値を表示します。
また、記帳点の外側には、それぞれに入力された採寸値が併記されます（右クリックメニューから解除可能です）。

割付値が望んだものと異なる結果になった場合、割付値を修正することができます。
割付画面で変更したい記帳点をクリックすると、入力カーソルがクリックした記帳点に移動し、畳の色が二色に塗り分けられます（図3-8）。

補足)右クリックメニュー

小中表示	小中表示の有無を切替
複合表示	複合表示の有無を切替
画面中心に移動	表示する部屋の位置を画面中心にリセット
小中スキップ	小中を表示中、入力を省略するかどうかを切替
採寸条件	採寸条件の表示の有無を切替
画面を固定	畳図の移動の是非を切替
敷込位置表示	畳図の敷込位置表示を切替
エラー表示をリセット	画面の割付エラー表示を消去

補足)割付画面の操作パネル

割付修正	割付修正モードに切替
不在設定	不在設定モードに切替
鉤入力	鉤入力モードに切替
採寸に戻る	採寸画面に戻る
一枚表示	一枚表示モードに切替

３．採寸割付（４）

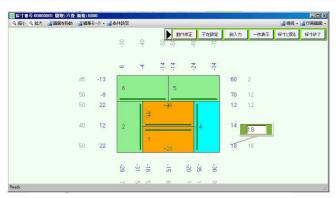



図3-8　割付修正

　ここで青く塗られた畳は変更元、オレンジに塗られた畳は変更先です。

　入力カーソルから割付値を増減させた時、オレンジに塗られた範囲の寸法がそれに対応して増減します。

　外周に接していない畳の割付値を修正したい場合、修正したい畳の寸法をクリックしてください。外周の記帳点をクリックした時と同様に、寸法を修正することができます。

３－７．採寸割付の終了と保存

　割付値が期待通りの値になったなら、画面右上の×ボタンか、「採寸終了」ボタンを押してください。

「採寸データを保存しますか？」と確認ウィンドウが開くので、保存する場合は「OK」を、保存しない場合は「キャンセル」を押してください。

「OK」を押して採寸データを保存するとき、もしも同じ名前の採寸データがすでに存在している場合、上書きをするか別の名前で保存するかの確認画面が表示されます。
　上書きをしてかまわないならば「OK」を、別途に保存する場合は一度「キャンセル」を押し、引き続き表示される確認ウィンドウで「OK」を押してください。

　採寸が終了すると、採寸条件設定画面に戻ります。引き続き新しい部屋を採寸割付するならば、Enterを押してください。
　終了、または転送等の処理を行う場合は、画面右下の「閉じる」を押して終了してください。

　この項目からは、畳を作成するにあたっての特殊な指定を行う場合の操作法を解説しています。

　以降で「〇〇モードに切り替わります」と記述されている場合、寸法入力や割付修正ボタンを押すことで元の寸法入力モードや割付修正モードに戻ることができます。

３－８．固定寸入力

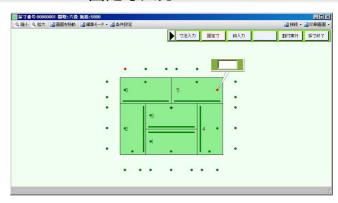



図3-9　固定寸入力

　予め畳の割付値を指定しておきたい場合、採寸画面で操作パネルの「固定寸」ボタンを押してください。画面の畳図の中に緑点の記帳点が現れます（図3-9）。
　畳図内の記帳点に入力カーソルで寸法を入力することで、予め畳の寸法を固定しておくことができます。

　また、固定寸で値を与えた場合、内側の畳のように、床長床巾が一致しなければいけない畳があった場合は、自動的に入力値にあわせて妥当なように値が固定されます。

３－９．鈎入力

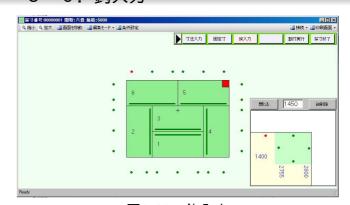



図3-10　鈎入力

　採寸した部屋に柱や欠けがあった場合、その情報を敷詰図に入力することができます。

　採寸画面の操作パネルの「鈎入力」ボタンを押すと、鈎入力モードに切り替わります。

　鈎入力モードで、畳図の鈎を書き込みたい箇所をクリックすると、畳図に鈎マーカーが追加され、鈎ウィンドウが開きます（図3-10）。
　複数の鈎マーカーが書き込まれている場合、赤く塗られているものが現在選択中の鈎マーカーです。

３．採寸割付（５）

半畳は四隅の四カ所、普通畳はさらに床長側中間の二カ所を加えた六カ所に、鈎マーカーを追加することができます。

なお、設定できる鈎マーカーの数は、最大で四個となっています。

鈎ウィンドウには、鈎マーカーの位置に応じて寸法を入力することができます。寸法を入力したい記帳点をクリックすることで値を操作できます。
鈎ウィンドウの入力カーソルから数値を入力し、Enterキーで確定してください。
この値はVer.5.0ではメモ値としてのみ機能し、割付値は反映されません。

一度書き込んだ鈎マーカーは、鈎入力モードですでに存在する鈎をクリックし、開かれた鈎ウィンドウの鈎削除ボタンを押すことで削除することができます。

３－１０．不在畳設定

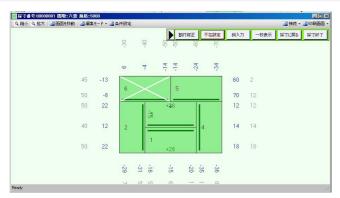



図3-11　不在畳設定

割付時、この畳は存在しない、作成しないという指定をしたい場合、不在畳を設定することができます。

不在畳に設定された畳は、転送やシール印刷等のデータ処理を行う場合に、それらの畳リストに追加されなくなります。

割付画面の操作パネルで「不在畳」ボタンを押してください。不在畳設定モードに切り替わります。
この状態で畳図の不在畳に指定したい畳をクリックすると、畳が不在畳と指定され、白く×が記入されます。

不在設定を解除したい場合は、再度畳をクリックしてください。

３－１１．一枚表示

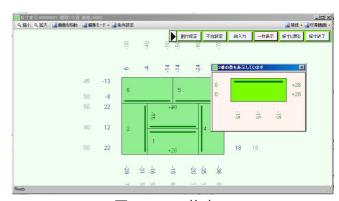



図3-12　一枚表示

採寸割付終了前に、畳それぞれの割り付けた寸法を確認したい場合、一枚表示モードを使用することができます。

割付画面の操作パネルで「一枚表示」ボタンを押すことで、一枚表示モードに切り替わります。この時畳図の寸法を表示したい畳をクリックすると、一枚表示ウィンドウが開き、畳の寸法が表示されます。

一枚表示ウィンドウを消したい場合、一枚表示ウィンドウをダブルクリックしてください。

３－１２．そのほかの機能

採寸割付画面のそのほかの機能について解説します。

採寸割付画面のそのほかの機能

・拡大・縮小
　画面上のツールバーの拡大・縮小ボタンで、畳図を拡大・縮小することができます。

・画面を移動
　このボタンを押すと、画面をクリックしてマウスを動かすと、その向きに畳図が移動するようになります。
　もう一度ボタンを押すことで、移動を禁止できます。

・編集モード
　操作パネルと同じ操作をツールバーから行うことができます。

・採寸条件
　○条件表示
　採寸条件の表示・非表示を切り替えます。

　○条件設定
　採寸条件を追加・修正することができます。

・ヘルプ
　取扱説明書を参照したり、現在の採寸画面の拡大率を保存したりすることができます。

・接続
　通信ポートを開き、採寸器等の寸法測定器との接続を開始します。

・画面印刷
　現在編集中の部屋の敷詰図を印刷可能な状態にして表示します。

4．今回処理（１）

今回処理画面は、作成した部屋の一覧表示や接続した省力機への転送書込、履歴への移動などを行います。
今回処理画面はVer.1と、改良を加えたVer.2を選択して使用することができます。以下ではそれぞれを解説しますが、この選択は「動作環境の設定」から行う事ができます。

４－１．今回処理画面（Ver.1)

今回処理画面を起動します。

畳システムを起動し、メニュー(図4-1)から赤丸で示される「今回処理」ボタンをクリックしてください。

今回処理画面(図4-2)が表示されます。

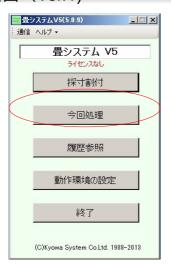



図4-1

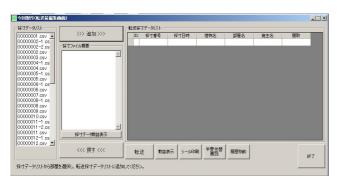



図4-2

今回製作画面では、敷詰図の表示と印刷、畳一枚単位のデータの表示と印刷、省力機への転送などを行います。
以下の項目は、採寸割付によって割付済みの寸法データが作られていることを前提に説明します。

今回製作画面の機能
(以下、転送採寸データリストは「転送リスト」)

・追加	転送リストに割付データを追加
・戻す	部屋リストから割付データを削除
・敷詰表示	部屋リストで選択中の部屋の敷詰図を表示
・シール印刷	部屋リストの畳の畳一枚別の寸法を記載したシートを表示
・転送	接続された省力機に寸法を転送
・履歴に移動	部屋リストの割付データを履歴に移動
・半畳回転モード	半畳の部屋のみを対象とし、傾けた畳の框を下前と見なして裁断させる機能

４－2．部屋リストへの追加と削除(Ver.1)

画面右の転送採寸データリスト（以下「転送リスト」）は、シール印刷や転送、履歴に移動を行う際の、処理を行う対象となる部屋のリストです。

画面左の採寸データリストから、今回処理を行いたい部屋の採寸番号をクリックし、「追加」ボタンをクリックしてください。転送リストの末尾に選択した部屋が追加されます。

TIPS:
採寸データリストでは、Shiftを押しながらクリックすることで連続した複数の部屋を、Ctrlを押しながらクリックすることで任意の複数の部屋を同時に追加することができます。

図4-3

転送リストから部屋を取り除きたい場合は、取り除きたい部屋を転送リストでクリックし、その後「戻す」ボタンをクリックしてください。

図4-4

４－３．敷詰図印刷

今回処理画面から、敷詰図を印刷することができます。
敷詰図を表示したい部屋を右の転送リストから選択し、「敷詰表示」ボタンを押してください。

新しいウィンドウが開き、指定した部屋の敷詰画面が表示されます（図4-5）。

また、採寸データリストで選択した部屋の敷詰表示は、画面中の簡易情報の下の「採寸データ敷詰表示」からも行うことができます。

４．今回処理（２）

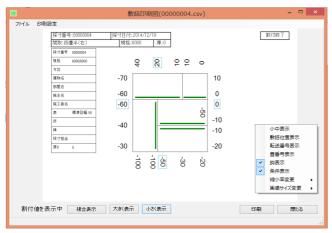



図4-5

敷詰画面からは、部屋の印刷とプリンタ設定を行うことができます。

〇敷詰画面の操作

・採寸値／割付値を表示
　表示する値を採寸値と割付値で切り替える。

・大きく表示／小さく表示
　画面に表示する図の縮小率を変更する。
　設定した縮小率は、敷詰図表示を終了した際に保存することができる。

・複合表示
　割付データ表示中に採寸データを併記する。

〇右クリックメニュー

・小中表示
　小中の値の表示と非表示を切り替える。

・敷詰位置表示
　敷詰位置情報の表示と非表示を切り替える。

・転送番号表示
　転送書込済みの畳の転送番号の表示を切り替える。

・畳番号表示
　畳の番号を表示する。動作環境の設定によって、表示する内容を、管理番号か転送順序かを切り替えることができる。

・条件表示
　画面左の採寸条件の表示と非表示を切り替える。

・鈎表示
　部屋に設定された鈎情報を表示する。

・縮小率変更
　大きく表示／小さく表示と同様に、敷詰図の縮小率を変更する。

・画像サイズ変更
　作成される敷詰図の解像度を変更する。
　出力される画像サイズも大きくなるため、プリンタ側で自動縮小を行う設定をする必要がある。

・印刷設定
　プリンタの設定を変更する。標準以外のプリンタで印刷を行う場合もこちらを利用する。

・印刷
　標準のプリンタで印刷を実行する。

TIPS:
*　一括で敷詰図の印刷を行う場合、印刷したい部屋を転送部屋リストに追加して、敷詰表示ボタンの上で、マウスを右クリックしてください。*
*　確認ウィンドウが開き、OKを押すと一括印刷を実行します。*

４－４．シール印刷

　転送部屋リストに追加された部屋の、畳一枚ごとの寸法を記載したシールを印刷することができます。

　印刷したい採寸データを、転送部屋リストに追加し、「シール印刷」ボタンを押してください。

図4-6

シール印刷プレビュー画面の操作
・拡大／縮小
　画面に表示されているシールを拡大表示、あるいは縮小表示する。
・印刷設定
　プリンタの設定を変更する。標準以外のプリンタで印刷を行う場合もこちらを利用する。
・印刷
　標準のプリンタで印刷を実行する。

TIPS:
*　「動作環境の設定」から、左半分一列のみにシールを印刷するよう設定を変更することができます。*

４－５．省力機に転送

　転送部屋リストにまとめられた部屋のデータを、省力機に転送し、書き込むことができます。
　転送したい部屋をリストに追加して、「転送」ボタンを押すことで、「転送画面」が表示されます。

TIPS:
*　なお、省力機への転送書込は、オプション機能です。転送を行うためには、省力機の改造と追加装置の設置が必要になります。*
*　詳しい解説は、「付録２．省力機への転送書込」を参照してください。*

４．今回処理（２）

４－６．履歴に移動

転送部屋リストにまとめられた部屋のデータを、履歴に一括して格納することができます。

採寸割付で作成した部屋データは、そのままにしておくと採寸データ領域に残り続けます。それを避けるために、作成済みの部屋は逐次履歴データに格納するようにしてください。

履歴に格納した部屋は、メインメニューの「履歴参照」ボタンを押すことで参照することができます。詳しくは「５．履歴参照」を参照してください。

TIPS:
今回処理画面を、部屋データが転送部屋リストに残ったまま終了した場合、確認ダイアログを表示した上で、転送部屋リストの部屋データを自動的に履歴に移動させます。移動させたくない場合は、確認ダイアログで「いいえ」を選択してください。

４－７．今回処理画面（Ver.2)

「動作環境の設定」で今回処理の設定を「Ver.2」に設定することで、今回処理Ver.2を使用することができます。以下ではこの使用方法を解説します。

図4-7

今回処理Ver.2では、採寸データリストの情報量を増やし、反対に転送採寸データリストの項目を減らしています。

Ver.2の採寸データリストには、採寸条件で決定する「採寸番号」、「採寸日時」、「建物名」、「部屋名」、「敷込予定」、「間取」の項目に加え、現在の作業の進捗状況を示す「状態」が表示されています。

また、採寸データリスト上で右クリックを行うことで、サブメニューを開くことができます。ここでは以下の操作が可能です。

・採寸割付を行う
　選択中の採寸データの採寸割付を行うことができます。採寸条件決定画面の「参照」から呼び出すものと同等の機能となります

・敷詰表示
　選択中の採寸データの敷詰表示を行います。画面中の簡易表示下のボタンで行うものと同様の機能です。

・削除
　選択中の採寸データを削除します。この操作は復旧できないため注意して下さい。

また、転送採寸データリストに、順序を変更するための「↑」「↓」ボタンが追加されています。
転送採寸データリストで選択中の採寸データを、一列上あるいは下に移動し、転送を行う順序を調整することができます。
なお、「半畳並替」が有効である場合、ここで順序を変更した上で、改めて半畳のみの並べ替えが行われます。

その他の機能については、今回処理Ver.1と変更はありません。

5．履歴参照

5－1．履歴参照の起動

履歴参照画面を起動します。

畳システムを起動し、メニュー(図5-1)から赤丸で示される「履歴参照」ボタンをクリックしてください。

履歴参照画面が表示されます。

図5-1

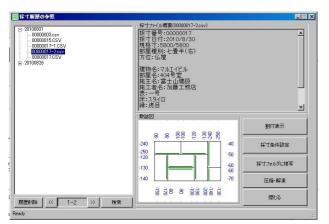



図5-2

履歴参照画面では、過去に作成した部屋を、履歴に格納した日付ごとに格納し、検索や参照を行うことができます。

画面左の部屋リストから日付を選び、クリックして開かれた部屋の一覧から、参照したい部屋を選んでください。

詳細な情報が画面右の「採寸データ概要」と、寸法の概要を示す「敷詰図」に表示されます。

履歴参照画面の操作
- 割付表示
  現在表示中の採寸データの敷詰図を表示する
- 採寸条件設定
  現在表示中の採寸データの建物名などを編集する
- 採寸フォルダに複写
  履歴に格納された部屋を再編集可能なように採寸フォルダに複写する
- 検索
  履歴全体から採寸ファイルを検索する
- 履歴削除
  選択中の履歴を削除する

TIPS:
部屋リストは、履歴件数が多くなってきた場合、表示する部屋数を制限します。その場合、「<<」「>>」ボタンで別のページを表示することができます。

5－2．履歴の検索

履歴参照画面下段左の「検索」ボタンを押下することで、「履歴検索」画面が表示されます。

履歴検索画面では、過去の採寸データを検索し、検索ワードに一致する項目をリストに表示することができます。

図5-3

検索条件のキーワード欄に、「十二畳」のように文字列を書き込み、「一部合致検索」「全部合致検索」を押下することで、検索が行われます。

キーワードには、「半角スペース」を区切りとして、複数のキーワードを指定することができます。

「一部合致検索」では、複数のキーワードのいずれか一つに合致していれば、検索結果に採寸データを追加します。
「全部合致検索」では、複数のキーワードすべてが合致した場合に、検索結果に採寸データを追加します。

TIPS:
キーワード欄でEnterキーを押下した場合、「全部合致検索」を行います。

「割付表示」「採寸条件設定」「採寸フォルダに複写」のボタンは、検索結果リストで選択中の採寸データに対し、それぞれ履歴参照画面のものと同じ動作を行います。

６．困ったときは

１）ライセンスなしと表示されて部屋の割付ができない

　製品用USBメモリをお持ちの場合、認証に失敗している可能性があります。可能なかぎりUSBハブではなくPC本体のUSBスロットに製品用USBメモリを挿入してください。
　それでもライセンスが認証されない場合、利用期限を超過しているか、インストール時に使用した製品用USBメモリと異なるものが使用されている場合があります。

２）敷詰図の印刷ができない

　プリンタドライバがインストールされていない可能性があります。接続しているプリンタのドライバをインストールしているか確認して下さい。
　また、標準で利用するプリンタが利用不可能になっている場合が考えられます。コントロールパネルの「ハードウェアとサウンド」の項目から、プリンタの項目を開き、利用するプリンタのアイコンを選択して「通常使うプリンタ」に指定してからもう一度試してください。

３）履歴データをUSBメモリに退避させたい

　動作環境の設定で指定している保存先のフォルダを開き、「TatamiSystemData」フォルダを探してください。このフォルダをUSBメモリにコピーすることでバックアップが可能です。

７．その他

７－１．お問い合わせ先

　本ソフトウェアの利用上で疑問点や問題が発生した場合、弊社までご連絡ください。

共和システム　畳システムサポート

Ｅメール：info@ksdt.jp

所在地　：広島県広島市西区己斐大迫3-20-5
電話　　：082-273-1290
営業時間：9:00～18:00(土・日・祝を除く)

７－２．製品版のお求め

　評価版をご利用のお客様で、製品版をお求めの場合、弊社まで書面あるいは電話にてご連絡ください。

　本製品は、利用権を購入月末から1年単位で販売しております。

　製品版をお求めの際には、本文書末の注文書に、ご利用のお客様のお名前、ご住所、ご利用期間と個数、ご利用になりたいPCのOSバージョンを明記の上、弊社までご送付ください。

　支払い方法は、銀行振込のみとさせていただいております。ご了承ください。

利用期間	価格(税抜)
１年	25,000円
２年	38,000円
３年	50,000円

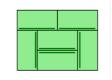
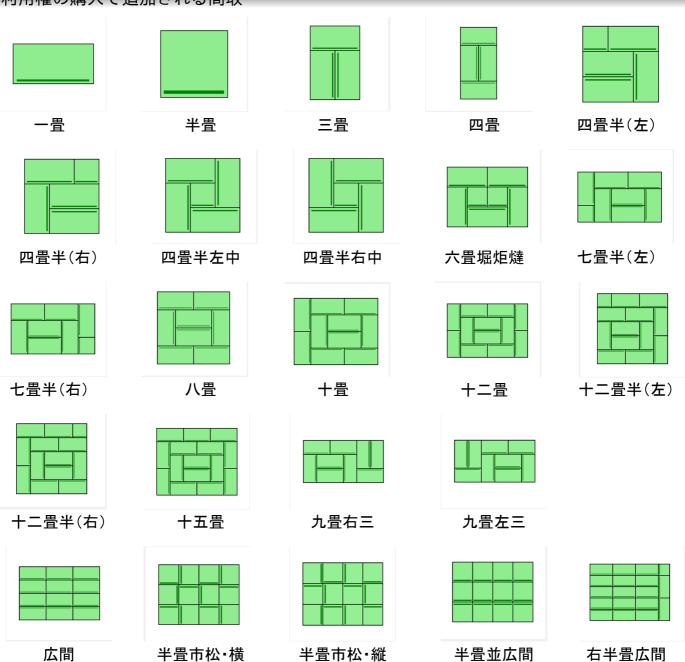
　振込先は、請求書と共に返送させていただきます。

付録１：作成可能な間取

評価版で作成できる間取

四畳半（右）

六畳

利用権の購入で追加される間取

一畳
半畳
三畳
四畳
四畳半（左）
四畳半（右）
四畳半左中
四畳半右中
六畳堀炬燵
七畳半（左）
七畳半（右）
八畳
十畳
十二畳
十二畳半（左）
十二畳半（右）
十五畳
九畳右三
九畳左三
広間
半畳市松・横
半畳市松・縦
半畳並広間
右半畳広間
右下半畳広間

付録１．畳寸取帳 for An からのファイル受信（１）

本ソフトウェアは、別売りの「畳寸取帳 for An」で作成した採寸データを受信することができます。
この通信を行うためには、まず「畳寸取帳 for An」をインストールしたAndroid端末側に、以下の環境が必要となります。

・Bluetooth2.1以降の通信機能に対応していること
・AndroidOS 4.1.2以降がインストールされていること

また、WindowsPCに以下の機能が必要です。

・Bluetooth2.0以降の通信機能

以下の説明は、以上の条件を満たしていることを前提とさせていただきます。ご了承下さい。

Android端末の設定

ここでは、Android端末から、WindowsPCへの接続設定を行います。なお、操作は基本的に縦置き状態で行います。

本アプリをインストールしたAndroid端末から、WindowsPCのBluetooth通信装置を発見する必要があります。この操作は、一度接続が確立すれば、同一端末間では再度行う必要はありません。
また、Bluetooth採寸機とWindowsPCは、別々にアプリに登録するため、この操作によって無線採寸機との接続が解除されることはありません。

「スタート画面」画面右上のメニューから「Bluetoothファイル送信先検索」、もしくは「設定画面」の「PC BTアドレス」右の「検出」をタッチしてください。

表示された「Bluetooth接続検索」画面で、右上の「検出」ボタンをタッチすると、現在検出可能なBluetoothデバイスがリストに表示されます。

表示されたBluetoothデバイスの中から、接続したい対象のPCの名前を選び、タッチしてください。確認の上、接続先としてそのBluetoothデバイスがアプリに登録されます。

図付１ー１　Bluetooth接続検索

WindowsPCのBluetooth設定

WindowsPCにおけるBluetoothの受信設定は、使用するBluetooth無線機やそのソフトウェア（Bluetoothスタック）によって操作が異なります。
この混乱を避けるために、畳寸取帳 for Anでは、以下のBluetoothドングルを使用し、Windows標準のBluetoothスタックを使用することを前提として、以下で操作を解説します。
それ以外のスタックでの接続は、同様の操作で動作する可能性はありますが、保証外とさせていただきます。

・使用するBluetoothドングル

Buffalo　BSBT4D09BK

付録１．畳寸取帳 for An からのファイル受信（２）

WindowsPCの設定手順

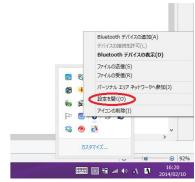
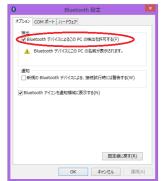
Windows7、Windows8およびWindows8.1(以降Win8)での設定方法を説明します。画面は主にWindows8における操作を解説しています。

１．Bluetoothドングルを PCのUSBポートに差し込む
　できるだけUSBハブではなく本体のポートに差し込んでください

２．画面の指示に従い、インストールが完了するのを待つ
　ドライバがインストールできない場合は添付のCDを使用したり、
　インターネットに接続してドライバの自動取得を行って下さい。

３．タスクトレイの△をクリックして、　マークの上にカーソルを合わせて
　右クリックしてください。
　その際に開かれるメニューから「設定を開く」をクリックしてください。

図付１－２
Bluetoothメニュー

４．開かれる「Bluetooth設定」画面の「オプション」タブから、
「Bluetoothデバイスによるこの PCの検出を許可する」の項目を確認し、
　その左のチェックボックスに☑（チェック）を入れてください。

図付１－３
Bluetoothオプション

５．同じく「Bluetooth設定」画面の「COMポート」タブを開き、
　「COM（シリアル）ポートのリスト」を確認してください。
　リストに「ＣＯＭ●　　着信」（●には数字が入ります）という項目が
　あれば、この「ＣＯＭ●」をメモして「畳システムＶ５での設定」に
　進んでください。
　項目がなければ、「追加」ボタンをクリックし、５．１の手順に進んで
　ください。

図付１－４
COMポートリスト

５．１．着信ポートの追加
　開かれる「COMポートの追加」画面の「着信（デバイスから接続）」の
　項目の左にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。
　しばらく待つと「COM（シリアル）ポートのリスト」に
　「ＣＯＭ●　着信」という項目が追加されます。この「ＣＯＭ●」をメモ
　して、「畳システムＶ５での設定」に進んでください。

図付１－５
COMポート追加

付録１．畳寸取帳 for An からのファイル受信（３）

畳システムＶ５の設定

受信を行う畳システムＶ５の設定を行います。ここで使用する畳システムＶ５は、試用版でも問題なく動作します。

ここでは、畳システムＶ５は問題なくPCにインストールされているものとして説明を行います。

１．畳システムＶ５を起動してください

２．スタート画面左上の「受信」メニューをクリックしてください

３．開かれる「Bluetooth無線　採寸ファイル受信」画面上のメニューから「接続設定」を開いてください

４．開かれるウィンドウに先ほどメモした「ＣＯＭ●」の「●」の数字を半角英数で入力し、Enterキーを押下するか「OK」をクリックしてください

以上で無線受信の準備は終了です。「畳システムＶ５の受信手続き」に進んでください。

図付１－６
受信アプリの起動

図付１－７　受信アプリの接続設定

付録１．畳寸取帳 for An からのファイル受信（４）

畳システムＶ５で受信を行う

WindowsPC上の畳システムＶ５で、採寸ファイルを受信します。以下の手順に従って、受信ソフトを操作してください。

ここから畳システムＶ５を操作します

１．畳システムＶ５を起動してください

２．スタート画面左上の「受信」メニューをクリックしてください

３．開かれる「Bluetooth無線　採寸ファイル受信」画面の左下にある「受信待機開始」ボタンをクリックしてください

４．正しく設定が行われていれば、ボタンの表示が「受信待機中」に切り替わります。

図付１－８
受信アプリの起動

ここから畳寸取帳 ｆｏｒ Ａｎを操作します

５．畳寸取帳 for An を起動してください。

６．「スタート画面」メニューから「ファイルをBluetoothで送信」をタッチしてください。

７．確認ウィンドウが表示されるので、送信して良ければ「はい」をタッチしてください。

図付１－９　Bluetooth送信の確認

図付１－１０　PC側受信確認

使用しているBluetoothスタックによっては、ここでWindowsPC側に受信の許可を求める確認ウィンドウが表示されるので、WindowsPCでも「OK」などをクリックしてください。

この操作によって、Android端末からWindowsPCに、採寸ファイルが送信されます。
正しく送信が行われたなら、受信ソフトに部屋のリストが表示されます。

図付１－１１　送信成功

以上で、Bluetooth無線によるファイル送信は終了です。以降はWindowsPC上で管理を行ってください。

なお、「設定」で「ファイル送信時　自動で採寸ファイルを削除する」のチェックを入れていると、送信が成功して終了した時、Android端末に記録されている採寸ファイルが削除されます。

付録２．畳寸取帳 for An からのファイル受信（５）

畳システムＶ５の操作

畳システムV5の受信ソフトで行える操作を解説します。

図付２－１　受信成功

敷詰図の表示と印刷

部屋リストの表示したい項目をダブルクリックすることで、敷詰図を表示することができます。

敷詰図は、畳寸取帳で作成した部屋データを畳システムV5仕様で表示したものです。画面の拡大縮小を画面下のボタンで調節することができます。

・敷詰図の印刷
この画面から、敷詰図を印刷することができます。
画面右下の「印刷」ボタンをクリックしてください。WindowsPCに接続されているプリンタから印刷が行われます。

・ファイルの保存
画面上の「ファイル」メニューの「ファイルの保存」をクリックすることで、画像ファイルとして敷詰図を保存することができます。
保存したいフォルダを指定して、画面の指示に従って保存を実行して下さい。

図付２－２　敷詰図

ファイルの取込（畳システムＶ５）

「採寸取込」ボタンを押下することで、現在選択中の採寸ファイルを畳システムＶ５に取り込むことができます。
畳システムＶ５では、寸法の割付や履歴データベースへの格納を行うことができます。
採寸取込後の操作は、畳システムV5の取扱説明書を参照してください。

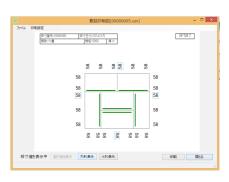
注意）
畳システムＶ５は無償提供しておりますが、利用権を別途購入しない場合、四畳半（右）と六畳以外の部屋の作成を制限しております。
この制限は、畳寸取帳 for An で作成された部屋には適用されません。

ファイルの取込（その他）

畳システムＶ５以外のソフトウェアに取り込みを行う場合、「変換取込」ボタンから行うことができます。
画面上メニューの「変換先」で対象を選択します。選択肢は、畳システムV5（5.1.0）では以下の通りです。

・変換なし
畳寸取帳形式のファイルをそのまま取り込みします。
採寸取込ボタンとの違いは、取込先を右クリックまたは初回取込の際に任意に指定できることです。

・V3変換
畳システムV3形式に変換します。多くの場合ルートフォルダ下の「C:￥畳システム￥1_採寸」フォルダを指定します。

・KTSW2変換
携帯寸割 for WindowsMobileのファイル形式に適合した互換ソフトウェアに取り込みを行います。
取り込み先の指定は、互換ソフトウェアの指定に従って設定してください。

付録３．目幅補正の設定

畳システムV5で行う「目幅補正」の手順について解説します。

畳システムV5では、表材料に合わせて以下の手順で目幅補正を行うことができます。

１）表材料に目幅を指定する

採寸条件設定画面で、表材料を指定する際に、目幅補正を施した表を選択することで、割付値を目幅の値に合わせて割り付けることができます。
目幅補正は、以下のようにして設定します。

・採寸条件設定画面で、表材料の名称を「[表名称]:[目幅補正値（厘）]」のように入力します。

例：　標準目幅表:50　（:以降すべて半角英数）

もしこの目幅の設定を再利用したい場合は、Shiftキーを押しながらEnterキーを押して確定することで、入力中の項目を定義リストに登録することができます。

・目幅つき表材料が登録されている場合

既に目幅補正値が割り当てられている表材料が登録されている場合は、表材料の項目の右にある「▼」をクリックし、表示されるメニューから適切な表材料を選択します。

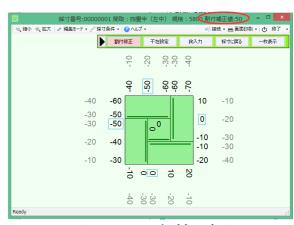
区切り：半角英数「:」
目幅　：半角英数（厘）

図付３－１　表材料の目幅設定

２）目幅補正つき割付を行う

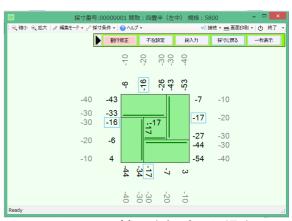
適切な目幅の設定された表材料を指定していれば、「採寸開始」ボタンで開始される採寸画面のメニューバーに「割付補正値:50」のように表示されます。
この数字が、目幅補正を行う基準値となります。

補正値が与えられた状態での割付は、中畳の寸法が可能な限り目幅補正値で割り切れるように行われます。

なお、0/5補正が設定されていた場合、目幅補正が優先されます。
また、割付後の割付修正を行った場合、目幅補正に基づいた割付は解除されてしまうため、割付修正を行う場合は注意をお願いします。

図付３－２　目幅補正割付

３）目幅補正を変更する

もし、採寸画面に入っても目幅の割付補正値が正しく与えられていなかった場合、メニューバーの「採寸条件」の項目から「条件設定」をクリックし、「採寸条件設定」画面から表材料を設定し直すことで、再度目幅補正値を設定することができます。

また、必要なかった場合に目幅補正値の解除を行う場合、目幅補正値の与えられていない表材料を設定することで、目幅補正を解除することができます。

図付３－３　補正を解除した場合

付録４．シール印刷項目の設定

畳システムV5で行う「シール印刷項目設定」の手順について解説します。

畳システムV5(Ver.5.1.15以降)では、「動作環境の設定」から、シール印刷で表示を行う項目の詳細な設定を行うことができます。

この設定は「特殊設定」タブから「シール印刷項目設定」の「設定」をクリックすることで編集することができます。また、これらの設定は「保存」でファイルに現在の設定を保存し、「読込」で保存したファイルから設定を復旧することができます。

１）シール印刷項目設定部品定義画面

「シール印刷項目」の「設定」をクリックすることで、以下の図１が表示されます。

図１

この画面では、シール印刷で印刷されるシールの表示部品を指定することができます。

画面左のリストが、シール印刷で表示される追加項目を示します。この項目を選択し、画面下の設定値編集枠で数値を変更することにより、シール印刷で表示される項目が変更されます。

画面右に表示されているプレビュー画面が、印刷されるシールのイメージを現します。

以下で、詳細な操作方法を解説します。

２）要素の追加

表示要素を追加する場合、左リスト下の「追加」ボタンをクリックしてください。
現在のリストの末尾に、新しい要素が追加されます。
この要素はシール枠内左上に表示される設定になっているため、まず表示したい項目を「要素」リストから選択し、X,Y,幅,高さの要素で表示される場所を指定してください。

３）要素の編集
要素は、表示する「要素」と表示する「座標（X,Y,幅,高さ)」、表示する「フォント」を指定することができます。
表示する要素は、要素項目の右の「▼」をクリックすることで、表示内容を選択することができます。

座標の指定は数字による直接の指定の他、数値末尾に「%」をつけることで、画面全体に対する割合で指定することができます。

現在選択中の要素は赤く、要素の表示範囲は、黄色く表示されます。表示領域に表示しきれないサイズにフォントが指定された場合、自動的に表示フォントが小さく補正されることに注意してください。

４）要素の削除

削除を行いたい要素を指定して、「削除」ボタンをクリックすれば、選択中の要素を削除することができます。余分な項目の表示が必要ない場合などに削除を行って下さい。

付録５．採寸条件表示項目の設定（１）

畳システムV5で行う「採寸条件表示項目の設定」の手順について解説します。

畳システムV5(Ver.5.1.15以降)では、「動作環境の設定」から、採寸画面、及び敷き詰め図で表示する採寸条件の表示項目の詳細な設定を行うことができます。

この設定は「特殊設定」タブから「採寸条件表示項目設定」の「設定」をクリックすることで編集することができます。また、これらの設定は「保存」でファイルに現在の設定を保存し、「読込」で保存したファイルから設定を復旧することができます。

１）採寸条件表示定義画面

「採寸条件表示項目設定」の「設定」をクリックすることで、以下の図１が表示されます。

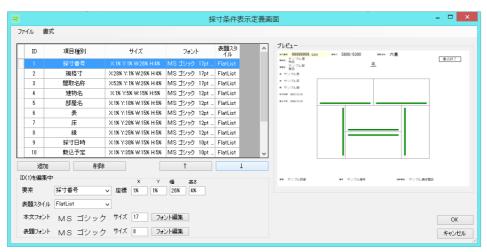



図１

画面左のリストが、採寸条件で表示される項目を示します。この項目を選択し、画面下の設定値編集枠で数値を変更することにより、採寸画面、および敷詰図で表示される項目が変更されます。

画面右に表示されているプレビュー画面が、表示される画面のイメージを現します。

以下で、詳細な操作方法を解説します。

２）要素の追加

表示要素を追加する場合、左リスト下の「追加」ボタンをクリックしてください。
現在のリストの末尾に、新しい要素が追加されます。
この要素はシール枠内左上に表示される設定になっているため、まず表示したい項目を「要素」リストから選択し、X,Y,幅,高さの要素で表示される場所を指定してください。

３）要素の編集

要素は、表示する「要素」と表示する「座標（X,Y,幅,高さ)」、表題と本文それぞれの表示する「フォント」、表示のスタイルを示す「表示形式」を指定することができます。
表示する要素は、要素項目の右の「▼」をクリックすることで、表示内容を選択することができます。

座標の指定は数字による直接の指定の他、数値末尾に「%」をつけることで、画面全体に対する割合で指定することができます。

現在選択中の要素は赤く、要素の表示範囲は、黄色く表示されます。表示領域に表示しきれないサイズにフォントが指定された場合、自動的に表示フォントが小さく補正されることに注意してください。

付録５．採寸条件表示項目の設定（２）

４）要素の削除

　削除を行いたい要素を指定して、「削除」ボタンをクリックすれば、選択中の要素を削除することができます。余分な項目の表示が必要ない場合などに削除を行って下さい。

５）書式の変更

　画面上の「書式」項目を開くと、敷詰図の解像度を指定する項目が表示されます。
　基本は1024×768ですが、1200×900、1600×1200に変更することができ、印刷される敷詰図の解像度を引き上げることができます。
　印刷する場合は、プリンタの設定に合わせた用紙サイズに縮小されるため、「大きな解像度を指定する＝画面表示が細かくなる」と解釈して問題はありません。

　敷詰図に表示される文字が大きすぎる、情報量が少ないなどと感じた場合に、解像度設定を大きなものに変更してください。

６）スタイルの変更

　採寸条件は、表題と本文の二部品で構成されていますが、これらのレイアウトを個別に指定することができます。設定を変更することで、プレビューでの表示内容も変更されます。

・FlatList
　表題と本文を横並びに並べます。本文は表題の直後に僅かな間隔をおいて配置されます。

・SmallCaption
　表題を左上に、本文をその下にわずかにずらして表示します。

・NoCaption
　表題を表示せず、本文のみを表示します。

・FlatList_Fix
　表題と本文の距離が均質な横並び表示です。表示領域の横幅に対して左から30%の位置に本文が配置されます。

７）縁の変更

　採寸条件は、その表示領域を縁取りすることができます。これはそれぞれの項目について、以下の項目から選択して設定することができます。

・NoFrame
　縁取りを行いません。

・Border_1
　太さ最小の縁取りを行います。

・Border_2
　Border_1より太い縁取りを行います。

・UnderLine
　下線を引きます。

８）設定の保存

　画面右下の「OK」ボタンをクリックすることで、設定を保存することができます。

Tips
　プレビュー表示の上で右クリックを押すと、現在編集している敷詰図のサンプル画像を、印刷時のイメージでプレビュー表示することができます。

畳システムV5　正規版ライセンス注文書

畳システムV5正規版ライセンスをお求めの際は、本状に下記の必要事項を記入の上、弊社宛にFAXあるいは郵送でご連絡ください。

必要事項

名前　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所在地：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＦＡＸ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

注文内容：

畳システムV5

利用期間	価格（税抜）	個数	金額
１年（１２ヶ月）	25,000円	＿＿＿	＿＿＿
２年（２４ヶ月）	38,000円	＿＿＿	＿＿＿
３年（３６ヶ月）	50,000円	＿＿＿	＿＿＿
合計			＿＿＿